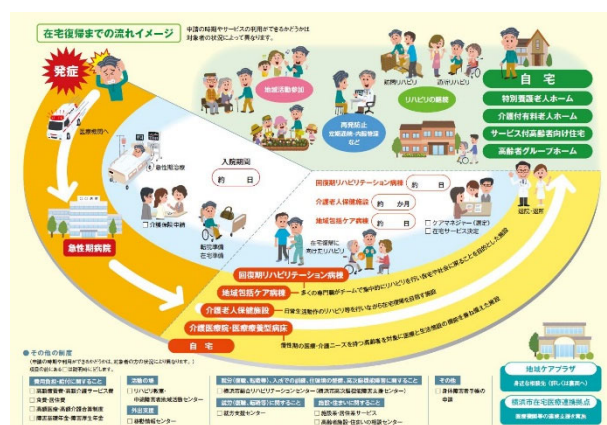


脳血管疾患ケアサポートガイド使い方

脳血管疾患の患者さん、もしくはご家族の方へ説明する際に用います。



1 リーフレット



主にこちらのリーフレットを使って説明します。

こちらの用紙は「発症」から「地域活動の参加」までの流れが経時的にわかるように示したものです。

状態によっては、この流れと異なる場合もあるかと思いますが、今どの段階にいるのか、これからどうなるのか、見通しが分かるように作成していますので該当する(しそうな)部分を説明してください。

2 補足説明資料

(例)

脳血管疾患等による後遺症のある方へ 中途障害者地域活動センター

仲間をつくりたい！
自分のできることを増やしたい！
復職したい！

中途障害者地域活動センターでは、脳出血や脳梗塞、くも膜下出血、脳外傷等による中途障害者の社会参加のため、仲間づくりや地域との交流、生活訓練等を実施しています。

心と身体のリハビリテーション

相談支援と情報発信

地域との交流

リハビリ教室

発症から困らない方のためのプログラム
例) 脳卒中の発症から困らない方のためのプログラム
電車やバスを使った外出訓練、リハビリテーション、地域の交流
開催日 週1回、2時間程度 利用料金 なし (実費程度)
対象者 おおむね40歳～64歳までの方

活動センター

定額制・外出・社会参加希望の方のためのプログラム
例) バイク・自転車・調理実習等の生活訓練
創作活動・自主製品の販売、病後の再発予防のための健康増進
リハビリテーション、地域の交流、仲間との交流
開催日 月～金曜日 10:00～15:30
利用料金 1,000円～2,000円程度
対象者 おおむね40歳～64歳までの方

高次脳機能障害者専用相談

高次脳機能障害に関する相談支援
脳卒中や脳外傷などの脳の損傷が原因で生じる高次脳機能障害に関して、日常生活の中で生じた生活困りについて、専門的なアドバイス等が相談に応じます。
開催日 原則 月1回程度 (要予約)
対象者 高次脳機能障害のご本人やその家族、支援されている方

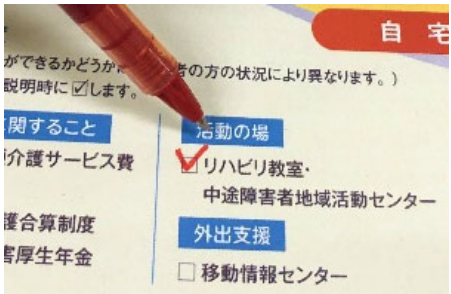
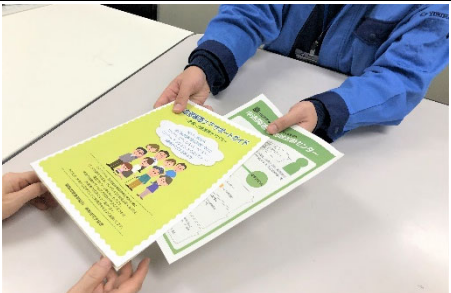
申請が必要な場合の持ち物や、相談先の詳細を知りたい場合は、制度ごとの説明用紙を作成していますので、そちらを使用して説明してください。

※説明用紙があるものはリーフレット見開きに□チェックボックスが付いているものです。

一度に説明してしまうと、ご本人・ご家族にとっては情報が多すぎる場合があるので、その人の段階に応じた用紙を用いて説明をしてください。説明後は、リーフレットに挟んで渡してください。

横浜市健康福祉局高齢在宅支援課

脳血管疾患ケアサポートガイドの使い方(例)

手順	説明
1	 脳血管疾患の患者さん、もしくはご家族の方との相談の場面で使用します。
2	 在宅復帰までの流れイメージ図に沿って、今どの段階にいるのか、これからの見通しなど該当する（しそうな）部分を説明します。
3	 患者さんの状況にあわせて、申請をする可能性のある制度や、情報提供する専門機関があれば、☐ボックスに☒チェックをします。
4	 ☒チェックを入れた制度や、専門機関について、別紙の項目別の補足説明資料を使用して説明します。
5	 パンフレットに項目別の補足説明資料を挟んで相談者へ渡します。